三　その他の土木費

密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

$$\frac{(B + C) \times 0.787}{A}$$

算式の符号

［略］

B　次の算式によつて算定した額

算式

$$\sum_{n=2}^{7} \{A_n \times (1 - C_n / B_n) + D_n \times (1 - F_n / E_n)\}$$

$A_n \times (1 - C_n / B_n)$ 及び $D_n \times (1 - F_n / E_n)$ に整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

［略］

三　中学校費

密度補正に用いる密度は、次の算式によつて算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

$$\frac{B + C + D}{A \times 6{,}124{,}000}$$

算式の符号

［略］

B　次の算式によつて算定した額（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

算式

$$36{,}900 \times b1 \times b2$$

算式の符号

［略］

b2　スクールバス等の数に 158.70 を乗じて得た数を、符号 b1 の数値で除して得た数（小数点以下３位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

三　その他の土木費

密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

$$\frac{(B + C) \times 0.769}{A}$$

算式の符号

［同左］

B　次の算式によつて算定した額

算式

$$\sum_{n=1}^{7} \{A_n \times (1 - C_n / B_n) + D_n \times (1 - F_n / E_n)\}$$

$A_n \times (1 - C_n / B_n)$ 及び $D_n \times (1 - F_n / E_n)$ に整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。

［同左］

四　中学校費

密度補正に用いる密度は、次の算式によつて算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

$$\frac{B + C + D}{A \times 6{,}237{,}000}$$

算式の符号

［同左］

B　次の算式によつて算定した額（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）

算式

$$36{,}600 \times b1 \times (b2 + b3 + b4)$$

算式の符号

［同左］

b2　当該都道府県の区域内の市町村の地域手当の地域区分が 100 分の 20 地域の市町村にあつては 1.003、100 分の 16 地域の市町村にあつては 1.003、100 分の 15 地域の市町村にあつては 1.003、100 分の 12 地域の市町村にあつては 1.002、100 分の 10 地域の市町村にあつ